

令和5年度おおとよ創生総合戦略推進会議議事録（公表版）

日時：令和5年10月2日（月） 10:00～11:15

会場：大豊町役場議場会議室

出席者：（委員）A委員（林業分野）、B委員（観光分野）、C委員（農業分野）、
D委員長（学識経験者）、E委員（県行政分野）、F委員（経済関係分野）、

（大豊町その他団体）大豊町長、同総務課長、同住民生活課長、同地域福祉課長、
同産業建設課長、同教育委員会次長、高知県嶺北地域本部地域支援企画員、
大豊町産業建設課課長補佐、産業建設課地域振興班主幹（事務局）

欠席者：（委員）G委員（住民活動組織分野）

・大豊町長挨拶

令和4度総合戦略数値目標及びKPI評価書について審議をお願いします。

・委員長挨拶

令和4度総合戦略数値目標及びKPI評価書について審議をよろしくお願いいたします。

○以下、K P I 評価における大豊町施策に対する委員からの主な質疑

【「民泊受入数家庭数の拡大」について】

（F委員）令和3年度は36戸、令和4年度は34戸と減少している。新型コロナウイルス感染症も落ち着きを見せ、海外からの民泊需要も増えてきているのではないかと思います。しかし、受入家庭が高齢化しているので、30代、40代の受入家庭も増やしていくとしているが、民泊受入数増加に向けた取り組みについて予定等があれば教えていただきたい。

（教育委員会次長）前任ですが、説明させていただく。30代、40代の家庭となっているので、民泊による副収入を得ることもできるので、移住者等を中心に民泊観光を推進していく必要があると考えている。このほか、三好市等との広域的な取り組みについても計画している。

【「クールベジタブル生産量の拡大」について】

（大豊町長）数値目標は重量で設定しているが、現在は軽い品目を栽培している。今後どのような方向性で取り組んでいく予定なのか、C委員（農業分野）にお聞きしたい。

（C委員）クールベジタブルを初めて10年近くなる。当初はキュウリ等の重量のある品目を取り扱っていたが、現在は甘長とうがらし等の重量の軽い品目に変更しているので、生産体制の見直しを図るなど、当初の計画も再検討している。

（D委員長）売上ベースでも課題となっているのか。

（C委員）生産量や売り先の確保などが課題となっており、売上ベースでも当初の計画を達成できていない。

【「1歳6ヶ月検診の受診率の向上」、「就学前の子育て・子育て世帯を応援」について】

（C委員）1歳6ヶ月検診について、1名参加ができていなかったとあるが、その後検診を受けることができたのか。年度ごとの目標については100%にすべきではないかと思う。

（地域福祉課長）1歳6ヶ月検診の対象者は9名で、そのうち1名は医療的ケア児で入退院を繰り返している状況であった。そのため、集団検診を受けることができなかった。目標設定については、年度ごとで100%になっていないが、最終的な目標を100%に設定しており、それに向け受診率の向上に取り組んでいる。

（住民生活課長）目標値について、1歳6ヶ月検診は計画策定時の基準値である平成30年度は90%であったため、徐々に受診率を向上させる目標を立てているが、町の施策としては毎年100%を目指して取り組んでいるので、令和5年度以降の目標については100%に変更させていただく。

（事務局）1歳6ヶ月検診の受診率の向上、就学前の子育て・子育て世帯を応援の数値目標について、ご意見のとおり令和5年度以降は100%に修正させていただく。

【「出生数の増加」、「若者世代（20～40歳代）の社会増」について】

（A委員）出生数の増加及び若者世代の社会増の目標値について、目標の数値が高すぎるあるいは見込み誤りによりアンバランスであると思う。この数値について説明していただきたい。

（住民生活課長）こちらの数値はこれまでの実績ではなく、これからの政策を反映した数値での目標値となっている。町の総合政策でもあるので、数値については検討していきたいと思う。

（A委員）各項目において、達成可能な目標設定を精査してもらいたい。その上で目標達成に向けて取り組んでいただきたい。

【基本目標3：安心して子育てができる環境を充実するについて】

（B委員）数値目標として、出て来ていない部分について質問させていただく。大豊学園の中学生の不登校の問題について、人数に対しての割合が多と感じている。原因と対応についてお聞きしたい。

（教育委員会次長）新型コロナウイルス感染症を契機に不登校者が増えたと感じている。対応としては、規定の教員数が24名のところ、支援員を含め50名近くの人員を配置してケアしている。

（Ｂ委員）原因を教育委員会と学校で共有しないと解決していかないと思う。第三者の教育の専門家等をお招きするなど、子どもたちのためにできることを学んでいってもらえればと思う。

【基本目標２：新しい人の流れをつくり定住につなげるについて】

（Ｂ委員）町内へ訪れる方が全員民泊をメインに来られるわけではなく、民泊以外の方法もあるのではないかとこの意見も出てきている。町内でも民泊でない宿泊施設もできており、移住者が古民家を活用するなども考えられる。そういった民泊以外の宿泊施設の可能性を探ることをしているか。

（教育委員会次長）民泊業にも様々種類があり、広がりを見せているところである。一方で町内にも旅館業を営む事業体もある。町の補助制度はないが、空き家を活用したいなどの相談を受けるなど個別に対応している。

（Ｂ委員）民泊だけにこだわらずに、新たな可能性や方向性もあると思うので検討いただきたい。

以上